
開講科目名：国際政治学研究 (B) (2単位)
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：定形 衛

《授業の概要》

【授業の目標】

近代以降日本は国際政治をいかに捉えてきたか。本授業では近代以降の日本外交の歴史に焦点をあて、今日の日本が国際社会で果たすべき役割と日本の外交的力の強化の課題について考えることを目指す。

【授業の概要】

現代日本を取り巻く国際政治を理解するには、明治以降の日本外交の歩みと昭和に入ってから以降の日本の対外的膨張政策の論理と実態を踏まえることが不可欠となる。そうした歴史的作業を精査しながら、今日の日本に求められる外交のあり方を考察していくことにしたい。

【授業計画】

- 1 明治期の日本外交と「脱亜入欧」路線の評価
- 2 日露戦争後の日本とアジア外交
- 3 第一次世界大戦後の日本と国際連盟外交
- 4 15年戦争と日本の歴史認識の問題点
- 5 太平洋戦争の終結と戦後日本外交
- 6 西側の一員としての日本の外交の展開
- 7 アジアの一国としての日本外交の展開
- 8 日本の対米外交と米国の対日外交
- 9 国際社会の貧困問題と日本
- 10 東アジアの平和構築と日本の役割
- 11 グローバル時代の日本の安全保障政策
- 12 グローバル時代の日本の援助政策
- 13 グローバル時代の日本のアジア外交
- 14 グローバル時代の日本外交の課題
- 15 日本外交の理念と実態について

【評価方法】

毎回の授業内容と議論についての小レポートの提出を課すとともに、教員と受講者の相互討論などを加味して総合的に評価する。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考書》

授業時に適宜指示する。